

ヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom」を
鹿児島県の市町村国民健康保険に加入する満 19 歳以上の方を対象に提供し、
ICT・データ利活用による健康増進、医療費の適正化を支援



株式会社ディー・エヌ・エーのヘルスケア事業の中核を担う株式会社データホライゾン(本社:広島県広島市、代表取締役社長兼 CEO:瀬川 翔)の子会社、DeSC ヘルスケア株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:瀬川 翔、以下 DeSC ヘルスケア)は、鹿児島県の委託を受け、鹿児島県の市町村国民健康保険(以下、「市町村国保」)に加入する満 19 歳以上の方々を対象に「楽しみながら、健康に。」を実現するヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom」を 10 月 18 日(金)より提供を開始し、同県における ICT・データ利活用による健康増進、医療費の適正化を支援します。

鹿児島県は、健康寿命(2019 年度)が男性 73.40 歳(全国 7 位)、女性 76.23 歳(同 9 位)と男女共に全国平均を上回る健康先進県ですが、市町村国保の特定健康診査実施率(2022 年度)が 42.9%と国の目標である 60%以上を下回っていることや、市町村国保の内臓脂肪症候群該当者・予備群者割合(2022 年度)が全国平均より高い状況にあるなど課題を抱えています。

こうした課題に対し、「kencom」は DeNA がゲーム開発で培ったノウハウを活かし、キャラクターが育成できるゲーム機能、健康に関わる記事が読める情報メディア機能、アプリ内イベント等で解決をサポートします。「kencom」を導入することで身近なスマホが健康増進の ICT となり、特定健診結果等のデータを活用し健康課題を見える化することで健康習慣の構築に繋がります。詳しくは、鹿児島県 HP よりご確認ください。

[鹿児島県の HP 鹿児島県健康応援アプリ「kencom」のページはこちら](#)



今後とも DeSC ヘルスケアは、「kencom」の提供等を通じて「楽しみながら、健康に。」を実現し、健康寿命の延伸、医療費適正化の課題解決に貢献していきます。



■kencom について

- ・2015 年 4 月サービス開始以来、健保組合・自治体など 124 団体、約 792 万人に提供
- ・サービスを利用してもらうことで、楽しみながら行動変容→疾患予防→医療費適正化
- ・ユーザーがアプリを月に 1 回以上起動する継続率は約 60%以上の水準を維持
- ・ゲームのノウハウを活用したキャラ育成機能やアプリ内で開催する健康増進イベント、健康行動を重ねるとポイント獲得ができる機能が特徴